

「どんなに素晴らしい製品でも、遊技者が着席動機、遊技動機を持たなければ動かない」という考えの下、「人間はあらゆるバイアスの元に思考・行動を決定する」という仮説を立て「バイアス」を表出させ数値化。経験則や外部要因に左右されない客観的な遊技機評価指標の作成を目的とし、諏訪理科大学統計学講師の桜井先生、(有)ノブ・石川氏を中心にプロジェクト化しました。 ※遊技機解析「Analyze」は会員限定の遊技機情報です。



機種名: **アレジン**

(藤商事)

導入予定日: 2014.11.30~



**1店舗あたりの
設置予測**

予測設置台数:

5台~

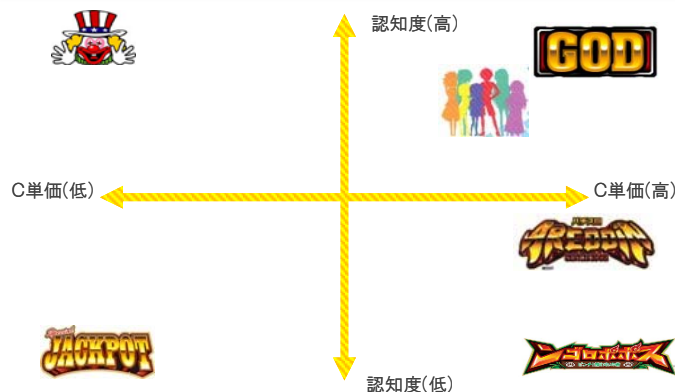
推奨設置台数:

3台程度で

Schedule

日付	機種名	販売予測台数
11/16	ひぐらしのなく頃に 煌	8,000台
11/30	アレジン	13,000台

Positioning-Map



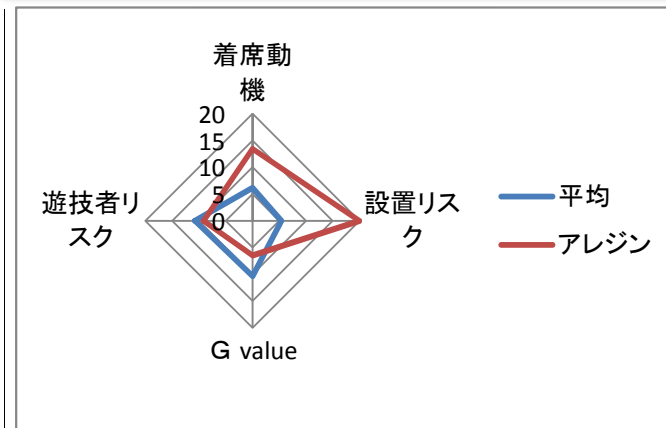
Comment (機種背景)

往年の「パチンコファン」であれば「アレジン＝連チャン」のイメージは湧き易いが、現在のパチスロ遊技層へ「アレジン」というネーミングの訴求性がどこまであるか？事前のネット情報などで「GODタイプ」と喧伝されているだけに、この点は杞憂となれば、あとは実遊技における一撃性：出玉感がどこまで彼らの期待に応えられるのかに尽きよう。ただし、この「GODタイプ」という文言が曲者で、比較対象イメージが限定されるために、過去、多くの機械が逆にGODの知名度を上げるだけの役回りに留まってきたことだけは覚えておきたいところである。

Comment (試打時の肝)

事前の配布プレゼン資料で気になる点は、まず各設定毎の確率の設定差が大きい部分。これは要確認のポイント。次に、設定打ち直し時の挙動の確認を。遊技フローでは、「ジュエルチャンス」がいわゆるCZの演出となると思われるが、これが概ね何G程度で発動するのかの確認と、当然AT終了後のCZのゲーム数を含めたG数テーブルの確認をしつつ、上乗せ時の演出でアドレナリンが溢れるのか？を体感していただきたい。

解析レポート



着席動機:新機種枯渇から高目

設置リスク:11月の新機種ラインナップからもリスクは小さいのだが、あまりにも業界側のバイアスがかかりすぎているのでは？という数値に。通常ならば中古で十分といたいところだが...

G value:いわゆる「GODタイプ」だけに通常遊技時は重い

遊技者リスク:天井恩恵ははっきり言ってそれほどの破壊力は無い。最大継続率も75%と、GODの域にはあらず。

離反要因:特に見当たらない。強いて挙げれば「ジュエルチャンス」か

ゲームフロー:現時点ではG数テーブル詳細が見えないのでなんとも言えないが、「ジュエルチャンス」の頻度がゲーム性を左右する事に。

新奇性:遊技フロー自体に新奇性は無い

総合評価



初週 予測 OUT

20900/sis